

「主な取組」検証票

| | | | | | |
|--------------|--|----------------------------------|-----|--|--|
| 施策展開 | 3-(11)-イ | 生活環境基盤の整備及び教育・医療・福祉における住民サービスの向上 | | | |
| 施策 | ②教育機会の確保及び文化の振興 | | | | |
| (施策の小項目) | ○離島における文化振興及び後継者育成 | | | | |
| 主な取組 | 伝統芸能公演支援事業 | 実施計画 記載頁 | 306 | | |
| 対応する 主な課題 | ○離島・過疎地域の文化振興については、人口の減少に伴い祭事の簡素化や伝統芸能の後継者不足などが課題となっている。 | | | | |

1 取組の概要(Plan)

| | | | | | | | |
|-------|---|----|----|----|----|-----|------|
| 取組内容 | 県民及び来県者に伝統芸能の鑑賞機会提供と若手実演家の育成を図るため、若手実演家等の公演及び国の重要無形文化財保持者等の公演を実施する。 | | | | | | |
| 年度別計画 | 24 | 25 | 26 | 27 | 28 | 29～ | 実施主体 |
| | 1回 公演回数 | | | | → | → | 県 |
| | 離島における伝統芸能公演の開催 | | | | | | |
| 担当部課 | 文化観光スポーツ部 文化振興課 | | | | | | |

2 取組の状況(Do)

(1) 取組の推進状況

(単位:千円)

| 平成25年度実績 | | | | |
|----------------|---|--------|--|------|
| 事業名 | 予算 | 決算見込 | 活動内容 | 主な財源 |
| 伝統芸能公演支援事業 | 16,000 | 16,000 | 国の重要無形文化財保持者等の公演を今まで実施のなかった久米島町にて1回実施した。 | 県単等 |
| 活動指標名 | | | 計画値 | 実績値 |
| 離島における伝統芸能公演回数 | | | 1回 | 1回 |
| 推進状況 | 平成25年度取組の効果 | | | |
| 順調 | 重要無形文化財保持者等公演を久米島町において実施することにより離島住民300人に伝統芸能の鑑賞機会の提供が図られた。また、若い世代向けに伝統芸能に触れる機会を設けたことにより、伝統芸能に対する関心を高めることができた。 | | | |

(2) 今年度の活動計画

(単位:千円)

| 平成26年度計画 | | | |
|---------------|--------|--|------|
| 事業名 | 当初予算 | 活動内容 | 主な財源 |
| 沖縄県文化振興事業等推進費 | 40,946 | 沖縄県文化振興会で実施している事業(伝統芸能公演)に対して補助を行い、県民及び観光客に伝統芸能の鑑賞機会提供と、40歳以下の若手実演家の育成を図る。 | 県単等 |

(3) これまでの改善案の反映状況

琉球芸能と西洋楽器のコラボレーションによる新しい音楽劇等魅力的な演目を出演団体が提案し、それを文化振興会や県も連携して周知を行った。

(4) 成果指標の達成状況

| 成果指標 | 基準値 | 現状値 | H28目標値 | 改善幅 | 全国の現状 |
|--------------------|---|----------------|----------------|-----|-------|
| — | — | — | — | — | — |
| 参考データ名 | 沖縄県の現状 | | | 傾向 | 全国の現状 |
| 伝統芸能公演1回における平均来場者数 | 199人 (23年度) | 211人 (24年度) | 170人 (25年度) | ↘ | — |
| 状況説明 | 平成25年度は久米島町公演を開催し、地域の協力のもと町内放送で直前まで広報活動を行うなどして、満員(300名)の集客を図ることができた。そして、重要無形文化財保持者等の質の高い伝統芸能公演を実施したことにより離島・過疎地域に鑑賞機会を提供できた。 | | | | |

3 取組の検証(Check)

(1) 推進上の留意点(内部要因、外部環境など)

・地域と連携しながら、その地域で効果的な広報活動を行うことによって、多くの住民の来場してもらい、質の高い伝統芸能を提供することにより、それにより関心を持ってもらうことができた。

(2) 改善余地の検証(取組の効果の更なる向上の視点)

・鑑賞前にその演目についてのレクチャーや、公演日時の周知など、観る側の興味を持たせる取り組みが今後も必要である。

4 取組の改善案(Action)

・公演前にワークショップを開催するなど、演目の内容や言葉の説明、動きなどを解説し、観る側の興味を持たせる仕組みを構築する。